国分寺市の文化財関係図書のご案内

令和８年 11 月１日



『国分寺市史　上巻』（原始・古代・中世）

B5 判　770 頁　割引価格 1,000 円

市内の遺跡について、時代別にその概要や出土品などを解説。特に武蔵国分寺については、発掘調査の成果を詳細に記述し、全国でも有数な規模の遺跡の全容解明に努力しました。また、中世の国分寺市域についてまとめて記述したものは初めてであり、当時の政治状況とともに、数多く出土した板碑から庶民の生活を浮き彫りにしています。



『国分寺市史　中巻』（近世）

B5 判　942 頁　割引価格 1,000 円

幕府の支配体制が確立する様子を代官の変遷や検地から述べています。また、江戸中期の新田開発は、市域の様子を一変させましたが、その各新田の開発の経緯、成果について多くの頁をさいています。このほか、各村の人口や年貢の変遷、用水、農民の家など、江戸時代を通じて市域の人々の暮らしや文化活動について幅広く記述しています。



『国分寺市史　下巻』（近代・現代）

B5 判　1052 頁　割引価格 1,000 円

明治維新直後の混乱する農村から、第２次世界大戦後の近郊住宅都市への変貌の 100 年を、政治と行政、経済と人口、教育と文化の３分野に分けて記述。政治と行政の分野では、自由民権運動と三多摩移管運動を北多摩の視点で捉えています。３分野ともに大きく変化する当時の社会情勢を踏まえながら記述しています。



『ふるさと国分寺のあゆみ』

A5 判　324 頁　定価 1,200 円

原始から現代までの国分寺市の歴史をカラー図版を多く取り入れて、コンパクトにまとめています。市史の普及版として見やすく分かりやすい本を目指し、また市史の発行以後に発見された資料も多く取り入れています。



『市制施行 50 周年記念　国分寺市の今昔』

A4 判　140 頁　定価 1,500 円

平成 26 年に国分寺市は市制施行 50 周年を迎えました。それを記念して発行した、国分寺市の歴史について多面的な視点から豊富な写真と資料でご紹介する本です。同年に武蔵国分寺跡資料館で開催した同名の特別展示の展示品も多数収録しています。



『住田古瓦コレクション―瓦に魅せられて―』

A4 判　85 頁　定価 700 円

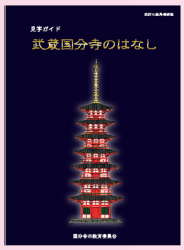
古瓦コレクターとしても知られる海事史・法制史学者故住田正一氏のコレクションを取り扱っています。住田氏の研究成果を基に、国分寺瓦の特色を豊富なコレクションと共に紹介するだけでなく、古瓦の美術的側面にも踏み込んだ内容となっており、古瓦の魅力を堪能できる一冊となっています。



『古代道路を掘るー東山道武蔵路の調査成果と保存活用ー』（改訂版）

A4 判　80 頁　定価 700 円

古代の官道である東山道武蔵路を題材とした本です。平成 22 年に武蔵国分寺跡資料館で開催した同名の特別展示を基に分かりやすく解説いています。初版（平成 29 年）が好評につき完売したため、最近の調査地点の情報を反映し令和６年１月に改訂版を発行しました。



『見学ガイド　武蔵国分寺のはなし』（改訂二版　再増補版）

A5 判　148 頁　定価 400 円

昭和 60 年 5 月より 4 年間にわたり国分寺市報に連載された、武蔵国分寺跡に関する同名の連載記事を基に編集しました。改訂第二版増補版が好評により完売したため、最新の整備状況などを反映した再増補版を令和８年３月に発行しました。武蔵国分僧寺と尼寺、その間を通る古代道路の東山道武蔵路などカラー図版をふんだんに配し分かりやすく解説しています。



『国分寺市の万葉植物』

B5 判　88 頁　定価 1,000 円

寺院の国分寺を訪れる人たちを、四季折々に楽しませてくれる万葉植物園（市指定天然記念物）を広く紹介するために刊行しました。日ごろ身近で目にする植物から貴重な植物まで約 160 種を万葉集の歌や植物解説とともにカラーイラストで紹介しています。



『アルバム国分寺』

A4 判　160 頁　定価 2,000 円

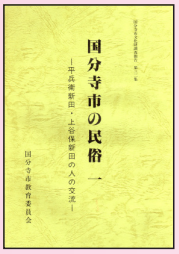
国分寺市の歩みを貴重な写真を通して振り返る写真集。明治から平成までの写真約 300 点を“町並み”や“暮らし･行事”などに分けて編集してあり、なつかしい風景、生活がよみがえってきます。

Sold　Out

『大昔の国分寺』

A5 判　110 頁　（品切れ）

本書は平成 3 年 5 月より 4 年間にわたり国分寺市報に連載された同名のシリーズを編集しました。市内の旧石器・縄文時代の遺跡や出土品を中心に 40 項目に分けて説明しています。



『国分寺市の民俗 1 ー平兵衛新田・上谷保新田の人の交流ー』

B5 判　66 頁　定価 600 円

市域の西南部に位置する平兵衛新田・上谷保新田の報告書。短期間の調査であったため 8 部門での調査をおこなわず、「人の交流」というテーマにそって、社会生活･人の一生･信仰と娯楽･交易（購入）･交易（販売）について報告しています。そのほか、平兵衛新田の屋敷神について紹介しています。



『国分寺市の民俗 2 ー国分寺村の民俗ー』

B5 判　215 頁　定価 1,500 円

市域の南部、ハケと呼ばれる国分寺崖線（がいせん）の下に集落を構えた国分寺村の報告書。真姿の池湧水群などがあって水に恵まれた土地であり、江戸時代の初頭には成立していた古い村です。

Sold　Out

『国分寺市の民俗 3 －野中新田六左衛門組・榎戸新田の民俗－』

B5 判　291 頁（品切れ）

市域の北部を横断する五日市街道沿いに集落の中心をおく、野中新田六左衛門組・榎戸新田の報告書。この新田は、江戸時代の中期に武蔵野新田として開発され、街道に面して家々が並ぶ路村（ろそん）の形態をとり、さらに全国的に珍しい入り組んだ境界となっていました。

Sold　Out

『国分寺市の民俗 4 －停車場の民俗－』

B5 判　241 頁　（品切れ）

停車場（ていしゃば）は、江戸時代にあった 10 ヵ村ではなく、明治時代に新しくできた町です。明治 22 年に甲武鉄道（現ＪＲ中央線）が開通するとともに、国分寺駅が開設されました。この付近には、鉄道が開通するまでは人家もなく、山林が広がっていたといいます。当時は駅を停車場と呼び、その周辺に開けた町のことも停車場といい、新開地における民俗を紹介しています。



『国分寺市の民俗 5 －本多新田・恋ヶ窪村の民俗－』

B5 判　269 頁　定価 2,000 円

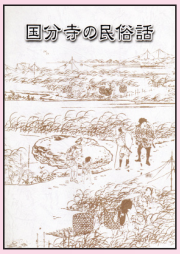
本多新田は、国分寺村の本多儀右衛門･仲右衛門の兄弟によって開発された新田です。一方、恋ヶ窪村は、国分寺村と同様に古い村でしたが、村のなかに武蔵野新田として開発された集落があります。このように古い村と新田における民俗を紹介しています。



『国分寺市の民俗 6 －戸倉新田・内藤新田・中藤新田の民俗－』

B5 判　343 頁　定価 2,500 円

いずれも武蔵野新田として開発された地区で、すでに開発から 250 年以上が過ぎたために、移住してきた家でも出身地を忘れていることがあります。しかし、伝えられる民俗のなかに出身地を思い起こさせてくれるものがあり、江戸時代から住んでいる家を全部まわって聞き取りをおこない、報告書にまとめました。



『国分寺の民俗話』

A5 判　157 頁　定価 800 円

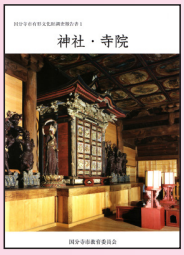
市報に連載された「国分寺の民俗話－民俗調査ノート」（全 36 回）、「国分寺の石仏」（全 17 回）をまとめた本です。民俗調査の中で得られた生業（農作業など）や年中行事など興味深い事柄が多くの写真とともに紹介されています。



『国分寺市の文化財〔令和元年版〕』

A5 判　60 頁　定価 400 円

平成 14 年に刊行した「国分寺市の文化財」の改訂版です。国分寺市内にある国・東京都・国分寺市の指定文化財 38 件について、カラー写真と解説文で紹介しています。各文化財の所在地を示した地図も新たに追加しており、文化財を通じて国分寺市の歴史を学べる一冊となっております。



『国分寺市有形文化財調査報告 1　神社・寺院』

A4 判　176 頁　定価 1,500 円

国分寺市内にある 14 の神社と 7 の寺院の建物を調査し、建築年代や様式などを考察。国分寺市社寺調査の概要・国分寺市　社寺の概要・造営史料・特論国分寺市社寺建築の諸相の 4 部にまとめました。



『国分寺市の戦争記録ー戦争末期の国分寺町内で起きたことー』

A4 判　64 頁　定価 600 円

本書は平成 27 年に武蔵国分寺跡資料館の夏季企画展で展示した内容をもととしています。主に戦争末期（昭和 19 年から 20 年頃）における国分寺町内の人々の暮らしに着目し、町民の出征や衣食生活、供出の模様、勤労動員、空襲と防空壕の話などを記載し、実際に町内で体験された方の証言記録も紹介したものです。



『国分寺市有形文化財調査報告書ー平成 26・27 年度ー』

A4 判　67 頁　定価 700 円

本書は平成 26 ～ 27 年度に行われた有形民俗文化財及び有形文化財（建造物）の調査報告書で、市内の 3 家に収蔵されていた民俗資料と昭和初期に建てられた洋館の調査概要とそこに収蔵されていた歴史資料が収録されています。

Sold　Out

『国分寺市重要史跡　恋ヶ窪村分水の調査』

A4 判　83 頁　定価 700 円

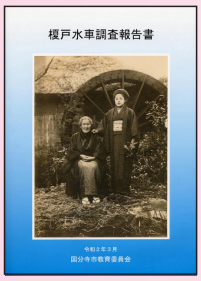
平成 30 年度に国分寺市重要史跡に指定された恋ヶ窪村分水の調査報告書。恋ヶ窪村分水の発掘調査に加えて恋ヶ窪村分水の歴史的経緯や緑地整備工事の概要にも言及している内容となっており、小坂克信先生の寄稿も収録されています。



『沖本家住宅調査報告書』

A4 判　103 頁　定価 800 円

平成 29 年度～ 31 年度にかけて行われた沖本家住宅の調査報告書です。沖本家は内藤地区に位置する昭和初期に建てられた洋館です。当時内藤地区は別荘地として活用されており、沖本家住宅は市内に現存する最古の別荘建築・洋館建築の建造物です。本書では沖本家住宅の建築的特徴や敷地内の樹木、所蔵されていた生活用品の記録も収録されています。



『榎戸水車調査報告書』

A4 判　111 頁　定価 800 円

並木町に所在した榎戸水車の調査報告書。榎戸水車は市内で唯一水車小屋と水車小屋へ導入する分水路の痕跡が残されています。本書では水車小屋や分水路だけでなく水車経営に携わった榎戸家の歴史や水車小屋に収蔵されていた民俗資料、水車に使われていた様々な技術も紹介しています。



『本多八幡神社神輿・力石調査報告書』

A4 判　71 頁　定価 700 円

本多八幡神社は、本多新田の鎮守として元文元年（1736）に京都の男山八幡社を勧請する形で祥応寺の境内に創建されたと伝えられています。神社に伝来する神輿は、創建当時の姿は不明なものの 200 年以上にわたり地域の祭礼で使用され、国分寺市内の信仰を示す貴重な民俗資料であり、令和 3 年に市の文化財に指定しました。本書は指定時に行った各種調査の記録と、平成 26 年に文化財指定した同社境内にある力石の調査成果をあわせた報告書です。

国史跡指定100周年記念事業

国分寺市史関連図書セット
記念価格販売

令和４年度に武蔵国分寺跡が国指定史跡となって100周年を迎えたことを記念し、国分寺市史とそれに関連する刊行物をセット価格で販売しています。また、令和９年度より新しい市史編さんに関連する書籍が順次発行されることを記念し、令和８年11月１日より、国分寺市史セットを2,500円、市史（上・中・下）一冊ずつの価格を1,000円に引き下げます。

国分寺市史セット



割引価格 2,500円

~~定価3,000円~~

国分寺市史の上巻・中巻・下巻にふるさと国分寺のあゆみを加えた４冊セット。

武蔵国分寺跡はもちろんのこと、古代から近現代までの国分寺市の歴史を豊富な資料と共に紹介しています。市史の各巻には当時の状況を反映させた地図も付属しており、より深く国分寺市の歴史を知ることができるセットとなっております。

国分寺市史史料集セット



定価 2,000円

国分寺市史史料集Ⅰ～Ⅳの４冊セットで主に近世の国分寺市の歴史に関する古文書資料を収録しています。　村々の統治や寺社に関連した史料の他に、武蔵野新田開発に関する史料や幕末から近代にかけて国分寺市域を中心に活動した村医者・本多雖軒に関する史料も収録しています。

国分寺市史史料目録セット



定価 1,500円

国分寺市史史料目録Ⅰ～Ⅲの３冊セット。国分寺市の歴史に関連する古文書の目録セットとなっており、国分寺市域を構成している村ごとに目録をまとめています。

更にⅡは御用留という村の統治に必要な触書・廻状などをまとめた帳簿の目録となっており、近世における国分寺村の統治をより深く知ることができます。

販売図書の頒価・重量

図　書　名	頒　価	重　量
『国分寺市史　上巻』	1,000円	1,960g
『国分寺市史　中巻』	1,000円	2,290g
『国分寺市史　下巻』	1,000円	2,570g
『国分寺市史セット』	2,500円	7,500g
『ふるさと国分寺のあゆみ』	1,200円	650g
『市制施行 50 周年記念　国分寺市の今昔』	1,500円	520g
『古代道路を掘る－東山道武蔵路の調査成果と保存活用－』（改訂版）	700円	350g
『見学ガイド　武蔵国分寺のはなし』	400円	280g
『住田古瓦コレクション－瓦に魅せられて－』	700円	350g
『国分寺市の万葉植物』	1,000円	230g
『国分寺市の文化財〔令和元年版〕』	400円	100g
『国分寺市の戦争記録』	600円	185g
『アルバム国分寺』	2,000円	730g
『大昔の国分寺』	（品切れ）	
『国分寺市の民俗 1』　平兵衛新田・上谷保新田	600円	190g
『国分寺市の民俗 2』　国分寺村	1,500円	510g
『国分寺市の民俗 3』　野中新田・榎戸新田	（品切れ）	
『国分寺市の民俗 4』　停車場	（品切れ）	
『国分寺市の民俗 5』　本多新田・恋ヶ窪村	2,000円	610g
『国分寺市の民俗 6』　戸倉・内藤・中藤新田	2,500円	740g
『国分寺市史料目録（Ⅰ）』	1,300円	670g
『国分寺市史料目録（Ⅱ）』	1,700円	700g
『国分寺市史料目録（Ⅲ）』	2,000円	680g
『国分寺市史料目録セット』	1,500円	2,100g
『国分寺市史料集（Ⅰ）』	2,500円	650g
『国分寺市史料集（Ⅱ）』	2,800円	670g
『国分寺市史料集（Ⅲ）』	2,900円	760g
『国分寺市史料集（Ⅳ）』	3,000円	690g
『国分寺市史料集セット』	2,000円	2,800g
『国分寺市史料目録４・国分寺市史料集５　柳屋 小柳家文書』	1,000円	470g
『国分寺市史料集６　柳屋 小柳家文書２』	1,000円	520g
『国分寺市史料集７』	2,500円	290g
『国分寺の民俗話』	800円	250g
『国分寺市有形文化財調査報告書１神社・寺院』	1,500円	740g
『国分寺市重要史跡　恋ヶ窪村分水の調査』	（品切れ）	
『沖本家住宅調査報告書』	800円	380g
『榎戸水車調査報告書』	800円	420g
『国分寺市有形文化財調査報告書－平成 26・27 年度－』	700円	320g
『本多八幡神社神輿・力石調査報告書』	700円	320g

郵送購入方法

購入希望の書籍名・冊数・申込者の氏名・郵送先住所・連絡先（TEL・メール可）を記載したメモを同封の上、①～③の送金方法で、武蔵国分寺跡資料館へお送りください。

① 書籍代金と送料の合計金額を現金書留で送付
② 書籍代金（定額小為替）と送料（切手）を送付
③ 書籍代金（定額小為替）に返送用のレターパックを同封

送料

	送金方法	１５０ｇ	２５０ｇ	５００ｇ	１．０kg
定型外郵便物	①・②	２７０円	３２０円	５１０円	７５０円
ゆうメール	①・②	１９０円	２３０円	３２０円	３８０円
レターパック	①・③	４３０円（厚さ３㎝重量４．０kgまで）			

５冊以上購入される場合の送料は、お電話でご確認ください。

※送料を計算する際には、梱包材の重量にご注意ください。角２封筒による梱包で「＋約 20g」、箱による梱包で「＋約 150g」です。梱包方法のご指定がない場合は封筒で発送します。

市史セット類の送料について

『国分寺市史セット』『国分寺市史料集セット』『国分寺市史史料目録セット』の３点は、ゆうパックにて送付させていただきます。ご希望の方は書籍セット代金と以下の送料の合計を、現金書留にて武蔵国分寺跡資料館まで郵送ください。

ゆうパック送料

発送地	都内	北海道	東北・関東・北陸・信越・東海	近畿	四国・中国	九州	沖縄
料金	1,130 円	1,710 円	1,200 円	1,310 円	1,440 円	1,710 円	1,810 円

書籍対面販売窓口

史跡の駅　おたカフェ
国分寺市西元町 1-13-6
TEL 042-312-2878

書籍郵送販売窓口

武蔵国分寺跡資料館
国分寺市西元町 1-13-10
TEL 042-323-4103

図書に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

武蔵国分寺跡資料館

〒 185-0023　東京都国分寺市西元町 1-13-10
TEL 042-323-4103　FAX042-300-0091
E-mail：museum@city.kokubunji.tokyo.jp